

高所作業車に乗り受電装置の異常を点検する作業員＝17日、那覇市のモノレール車両基地



レール上で 車両故障？

モノレールで想定訓練

**読んで
読ん
NIE**
沖繩都市モノレール
(仲吉良次社長)は17
日、那覇市鏡水の車両
基地で年一度の異常時総合訓
練を実施した。首里駅と儀保駅
の間で車両に異物が挟まって
故障。煙が発生して停電し、

レール上で車両が動かなくな
ったという事態を想定して実施
された。運転士からの通報で災
害対策本部が設置されると、高
所作業車が車両を点検して異
物を取り除いた。

仲吉社長は訓練の後、「いろ
いろな状況を想定し何度も訓
練するのが大事だ。お客さま
の立場に立ち、今日の対応を反
省してほしい」と社員に訓示し
た。故障車両を運転した久田友
貴さんは「思ったより煙が広
がるのが早く、課題が残った。
訓練の成果を100%発揮でき
るようにしたい」と話した。